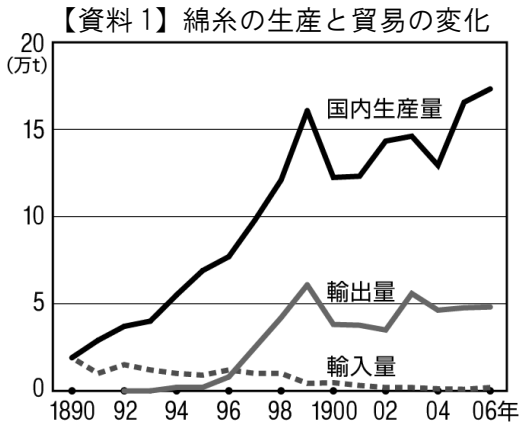
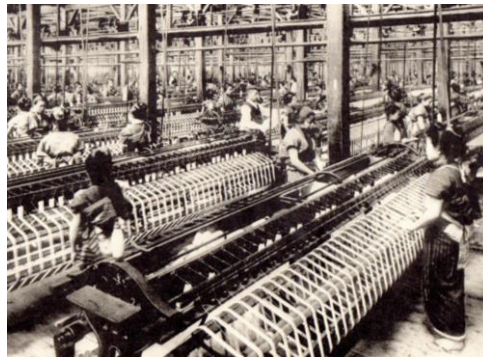


☆教科書，資料集などを使い，問題を解いてみよう！

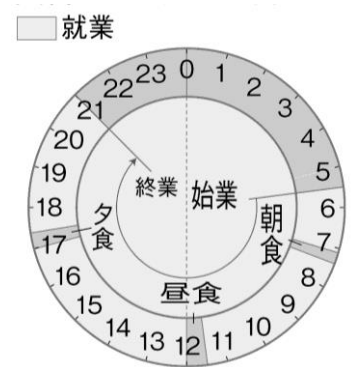
産業革命の進展



【資料 2】大阪の紡績工場



【資料 3】工女の一日



①【資料 1】で，綿糸の輸出量が輸入量を上回るようになったのは何年か。
答. (1897 年)

②【資料 1】から読み取れることを，説明しなさい。

綿糸の国内生産量が増加するとともに，輸入量は減少し，輸出量が増加している。

③②のように変化が起こった理由を，【資料 2】を参考にして，説明しな

初めての機械製工業として，最新式の機械を使い，安い女子労働力によって生産量が急速に増加したから。

④【資料 3】で，工女の労働時間はどのくらいか。 答. (14～15 時間)

⑤製糸工場で働く工女の労働はどのような状況であったか。【資料 3】を参考にして簡単に書きなさい。

答. 労働時間がたいへん長く，厳しかった。

⑥右の【小学校の就学率の変化】のグラフを見て，就学率がどのように変化したかについて，説明しな

男女の就学率には大きな差があったが，就学率は急速に伸び，男女とも 100% 近くになった。

▼小学校の就学率の変化

